環境保健係

保健ニュース

3月1日～8日は「女性の健康週間」です

「女性の健康週間」とは、女性が生涯を通じて健康で明るく充実した日々を過ごすための国民運動として展開されるものです。日ごろは家族や周囲のことを優先して、自分の健康が後回しになりがちですが、この機会に自分自身の健康について考えてみましょう。

女性特有のがん予防は20歳代から

近年の日本では、2人に一人ががんと診断され、5人に一人がんで亡くなっています。女性がなるがんで最も多いのは乳がんで、12人に一人がんと診断されるといわれています。

一般的に、がんは加齢とともに多くなりますが、子宮頸がんは20歳代から、乳がんは30歳代から増え始めて、50歳代までにがんの診断を受ける率は女性が男性を上回っています。女性特有のがんは、人生の最も充実した時期に、女性の健康を脅かすものなのです。

女性特有のがんは、早期発見で治りやすい

子宮頸がんや乳がんは、早期に発見できれば治りやすいがんといわれています。

早期であれば、子宮頸がんは9割以上、乳がんは10割近く治ります。

立科町では、婦人科検診（子宮頸がん検診）を20歳から、乳がん検診を30歳代は超音波検診、40歳以上はマンモグラフィ検診を実施しています。

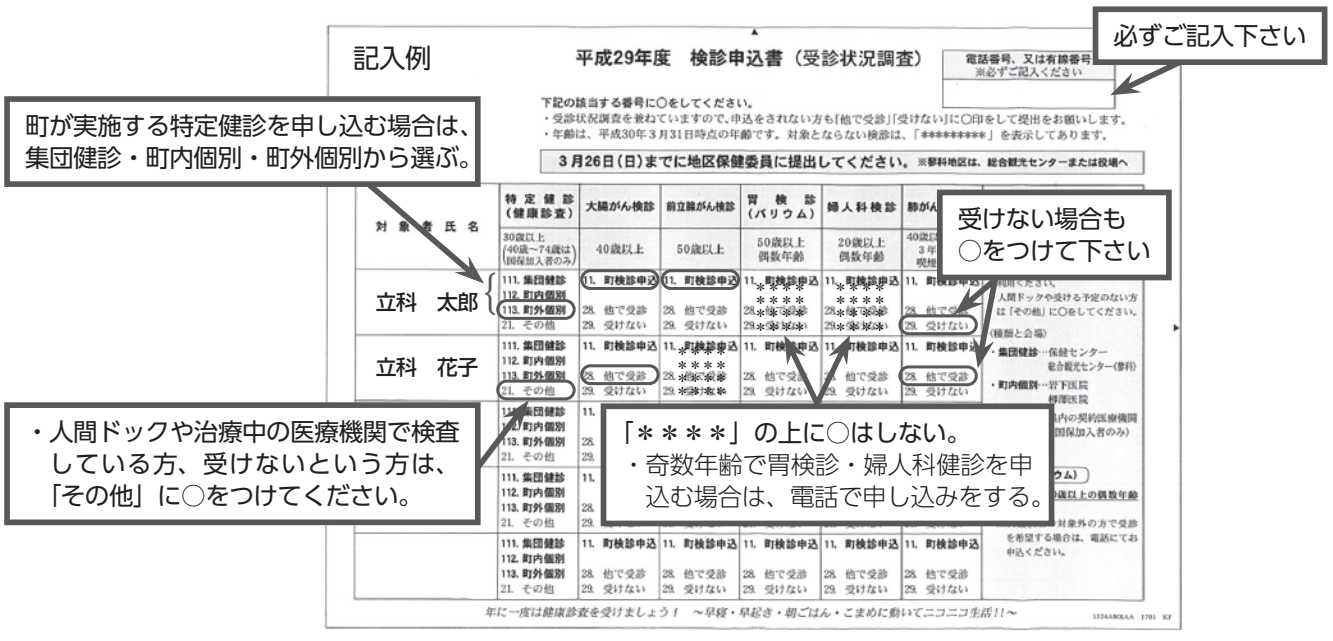
この他に平成28年度から、医療機関で受けたがん検診についての「がん検診助成金交付事業」（子宮頸がん検診・乳房マンモグラフィ検診で各4，000円上限）を開始しました。

定期的ながん検診で、あなたの健康を守っていきましょう。

「平成29年度 検診申込書（受診状況調査）」のお知らせ

環境保健係

平成29年度に町が実施する各種検診の申込みと併せて受診状況調査を行います。全世帯に通知される申込書（受診状況調査）に必要事項を記入し、平成29年３月26日㈰までに、地区の保健委員さんまで提出してください。（蓼科地区の方は、総合観光センター又は、役場へ提出してください。）

検診内容は、通知に同封されている案内でご確認ください。

※申込をされない方も、いずれかの項目に○をして、提出くださるようお願いします。